

03・【耳舐め】脳を溶かす魔女のあまあま耳舐め

『02・いけない誘い』からそのまま続き。

十一月上旬。時間帯は十六時半ごろ。天気は雨。外の気温は十三度程度で、部屋は暖かい。

雨は気づくと止んでいる。だが、外はかなり冷える。

・※ここから、左耳（向かって右）↓右耳（向かって左）の順で、各5分程度（合計10分程度）舐める。その間、次の簡単な流れ（①内の指示）に沿って、セリフを任意のタイミングではさむ。

※セリフはすべてささやき※

●●左【すべてささやく】

【舐め始める。しばらく、耳のふちを、優しく舌で形をなぞるようにたっぷり舐める】

「優しくささやく。笑い声も小さめに」

あはは。気持ちいいですか？ 麻酔の効果様々（さまざま）ですね」

【耳の中へ舌を入れていく。少しずつ奥へ入り込んでいくイメージ。優しく、丁寧に、丹念に舐める】

「耳の奥に向かって優しくささやきかけるイメージ」

※聞き手をドキツとさせるイメージでお願いします※

可愛いですよ。……ずっとこうしたかった」

【耳の中から奥へ向かって、ちゅぽちゅぽ、丹念に舐める】

「優しくささやく」

※聞き手をドキツとさせるイメージでお願いします※

大好きですよ。

【呼吸を整えようと甘く息を吐く。結果的に『耳ふー』っぽくなる】

ふう、ふう……。

【少し苦しくなっていたのをごまかそうと、意地悪を言う】

あなたが感じてるとね？

あたしちゃんとわかるんです。だから隠さなくていいですよ♥」

【いっぱい気持ちよくしようと、熱心に舐める】

【耳舐めがちよつと激しくなる。耳の奥の方を、くぼくぼと丹念に舐める】

【主人公を愛撫できるのが嬉しい。すっかり夢中になっている】

ん……ふつ。はあ……可愛い……」

【引き続き耳舐めがちよつと激しくなる。耳の奥の方を、しっかりと舐める】

【やがて少しずつ、緩やかな舐め方に戻る。そろそろこちら側は終わりのサイン】

【満足げにささやく】

あは。お薬のおかげか、とろっとろになってくれてるみたいですね♥」

※ここから移動※

※ささやき、いったんストップ※

●右 至近距離

「くわえたまま話すせいで『こっちも』が『こっぴも』になる」

こっぴも……」

※ここから再び、次の簡単な流れに沿って、セリフを任意のタイミングではさむ。

※セリフはすべてささやき※

●●右 「すべてささやく」

「舐め始める。先ほどと同じように、しばらく、耳のふちを優しく舌でなぞるようにたっぷり舐める」

「耳の中へ舌を入れていく。先ほどよりも、少し激し目にする」

「ふと思い出したように、舐めるのを止めてゆっくりささやく」

あなたってさあ。泣いてる顔めっちゃ可愛いですよね。

涙で目えぐずぐずにしてるのとか、すごいエロい」

●右 軽く吹く

【耳の中を、ふっと一度吹く】

【先ほどよりも、少し意地悪に、しっかり耳を舐めて攻めていく】

【ふと思い出したように、舐めるのを止めてゆっくりささやく】

あなたが泣く度、あたし変な気持ちになってたんです。

それから……絶対何とかしてあげたい、もう泣かなくて済むようにしてあげたいって思っていました。泣いてる顔エロいとか思ってるくせに、おかしいですよね」

【耳舐めがさらに少し激しくなる。ただし、音を立て過ぎないイメージ】

【ふと思い出したように、舐めるのを止めてゆっくりささやく】

だから誰にも見せて欲しくなかった。

こんなの見せられたら、みんなあなたの事好きになるでしょって思ってたんですよ」

【丁寧で優しい耳舐めに戻る。奥の方を丹念に舐める】

【満足げにささやく】

でも。これからはあたしだけのあなたになりますからね。
安心です♥」

【少しずつ、緩やかな舐め方に戻る。そろそろこちら側は終わりのサイン】

【ひときわ優しくささやく】

※聞き手をドキツとさせるイメージでお願いします※
大好きですよ。あたし、ほんとにあなたが大好きです」

※このセリフを言い終わり次第、耳舐め終了。そつと耳元から離れる※

●中央 上 至近距離

【少し意地悪に。主人公がたっぷり感じてくれて嬉しい】

ん？ そろそろお耳だけじゃ足りなくなってきましたか。
そうですね。こんなに抵抗したいのに、あなたの身体の方は、大好きな人とセツ

クスしてるみたいに気持ちいいんですもん。

おかげであなたの事、恋人気分で犯せます♥」

主人公、たっぷり気持ちよくなって、涙に濡れた目でサリアを見上げる。

サリアはそれが可愛くてたまらない。

治療を少しでも早く、円滑に済ませるためにも、もっともっと感じさせたいと思う。

だがサリアは、きつと主人公は『こんなのは嫌だ』『今すぐにやめてほしい』と思っているに違いない……。と考えてしまう。

自分は決定的に嫌われて、自分たちの関係は壊れたのだと。

実際には、主人公の表情だけでは、そんな事はとても読み取れない。

サリアがこの行為に強い罪悪感を感じているから、そう思えてしまうだけだ。

●中央 上 至近距離

「わざと悪っぽく。少し意地悪に」

やめる訳ないでしょう。

あなたはこれから。あたしに全部奪われるんですよ♥」

このままフェードアウトして終了。